

せいかい



みんなの暮らしを支えている「生物多様性」を守るためには、
有害鳥獣への対応も大事っば！

捕獲して駆除するだけでなく、
食用に加工したりして「ジビエ」として利用することが
ここ最近注目を浴びているんばい！

第2の危機（ピンチ）

人間が、手を加えなくなった里地里
山は荒れてしまい、イノシシやシカなど
が増えすぎて、そこにいる生きものの
すみかをうばっています。



出典：久留米市「くるめ生きものプラン」

なぜ今、ジビエ振興なのか

○ 被害防止のために捕獲を進めるだけでなく、捕獲鳥獣を地域資源（ジビエ等）として利用し、農山村の所得に変えるような、有害鳥獣を「マイナス」の存在から「プラス」の存在に変える取組を全国に広げていくことが重要。

マイナス面

- ◆ 野生鳥獣による農作物被害の増大
- ◆ 営農意欲の減退
- ◆ 耕作放棄地の拡大
- ◆ 農山村地域の衰退
- ◆ 有害鳥獣の捕獲
- ◆ 捕獲鳥獣の埋却・焼却処理が負担

ジビエ振興

これまで廃棄していた捕獲鳥獣のジビエ利用拡大を推進

プラス面

- ◆ 積極的な捕獲の推進
- ◆ 農作物被害の低減が期待
- ◆ 様々な分野でジビエ利用
 - 農泊・観光
 - 外食・小売
 - 学校給食
 - ペットフード など
- ◆ 農山村地域の所得向上が期待

出典：農林水産省「捕獲鳥獣のジビエ利用を巡る最近の状況」